

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立難波支援学校
校長名	室田 澄江

開催日時	令和 5年11月30日(木) 13:30~14:25
開催場所	難波支援学校 校長室
出席者(委員)	高知 会長、中島 副会長 谷口 委員、辻 委員、鈴木 委員、藪根 委員
出席者(学校)	校長、教頭2名、首席3名、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 学校経営計画 他

議題等(次第順)

- 学校経営計画について
- 学校教育自己診断について
- 本年度採択の教科書について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 学校経営計画について学校長から概要説明を行った後、質疑に入った。
主な意見は以下のとおり。
 - ・難波支援学校は人権の問題についてももしっかり取り組んでいると感じた。
 - ・人権の問題は難しい。同和教育を正面から取り組もうという学校自体が少ない中、難波支援学校がしっかり取り組んでいるのは非常に意義のあることだと思う。教員が人権問題、意識をしっかりと理解してそれを子どもにわかりやすく変換して伝えていく作業が必要になると思う。難しい作業になると思うが、わかりやすく子どもに伝えていく工夫を考えてほしい。
 - ・働き方改革については、事務作業や会議をどうやって効率的に進めていけるかが決め手になると思う。例えばデジタル機器を活用して資料作成やポイントを絞り込んでから会議に参加することで、効率的に会議をすすめることができるし、しっかりと議論ができると思う。そして余裕ができた時間でしっかりと子どもたちに向き合ってもらいたい。
 - ・難波支援学校は人権の問題に真摯に向き合ってもらっていると感じた。
 - ・防災については、昼間の在校時に災害にあったときに地域としてどう対応するかが課題なので、学校との協力体制等について相談させてほしい。
 - ・教育実習で難波支援学校にお世話になった学生の感想を聞くと、小学校等とは少し違う、何かしら新たな発見があるという意見が多い。このあたりに支援学校が持っている力を改めて感じている。
 - ・今、支援学校のカリキュラムマネジメントが注目されている。難波支援学校ではどのように進められているのか興味深く聞いていたが、交流事業を教科で受け止めて将来的に教育課程に反映させていくということなので、期待したい。
 - ・コロナ禍が続いていた間、人権問題が置き去りにされているのではないかと感じていたが、若い教員が増える中で、もう一度人権についてしっかり学んでいただくという場を設けていただき、本当にありがたい。
 - ・防災については、実際の現場では、子どもの特性がいろいろ出てくると思うので、それぞれの特性をしっかりと把握していただき、実際の災害が起きた時に一人も漏れがないように的確に情報を把握して対応できる体制を構築してほしい。
 - ・教員の働き方改革が進んでいく中で、教員一人ひとりの時間が確保されることで、より一層専門性が高まればと思う。
- 学校教育自己診断について学校長、首席教員から概要説明を行った後、質疑に入った。
主な意見は以下のとおり。
 - ・項目については、特にないが、回答率が上がることを願っている。
 - ・デジタル化という方針ではあるが、移行にはかなりの準備が必要で、しっかりICTを根ざしていくことが重要だ。
 - ・子ども、保護者や教員の意見をうまく反映させることができる部分もあれば、できない部分もある。悩む場面はあると思うが、しっかり進めてほしい。
 - ・マークシートでの回答はハードルが高いのでは。保護者でも不慣れな方がいると思う。回答率が上がることを願う。
 - ・「むずかしいができるように」のように内容的に疑義がでるおそれがある項目はわかりやすく表現してほしい。
 - ・焦点が絞られてわかりやすくなっているので回答しやすいとは思いますが、Web回答の方が回答率が上がるのでは。
 - ・グーグルを使っただけの欠席連絡のようにシンプルな形のもので使いやすくてよいと思う。家庭の事情もあってできない方もいると思うので、そのあたりの折り合いをつけていくのが課題だと思う。
- 本年度教科書採択について学校長、首席教員から概要説明を行った後、質疑に入った。
主な意見は以下のとおり。
 - ・家庭科の教科書は内容が難しいと思う。料理や洗濯というような将来も役立つ内容に関する教科書について、子どもたちが興味を持てるような教科書を採択してほしい。
 - ・教科書採択制度は曲がり角に来ていると思う。先生方の大変な苦労がみてとれる。教科書用一般図書はあまり売れないうえ、部数も限られているので採択が難しいのが実情だと思う。本を選びたくても選べない状況になっている。
 - ・地域の生徒にも見せてあげたいぐらいの内容のものもある。高等部の教科書はこういう内容のものが増えるとよい。
 - ・教科指導、教科学習が叫ばれる中で教科書の重要性が増している。継続性をもって教科書を使用する工夫が必要だ。
 - ・内容的に難しい。制度上の制約があるのは理解できるが、ドリル等子どもの特性にあった補助的な教材も必要だ。
 - ・海外のようにiPad一つで全部の授業を受けることができるような仕組みがあればよいと思う。
 - ・図鑑などが採択されなくなったのは悲しい。以前の教科書は授業以外でも活用方法があったが、それが難しくなる。

次回の会議日程

日時	令和6年2月中旬~3月中旬
会場	難波支援学校 校長室